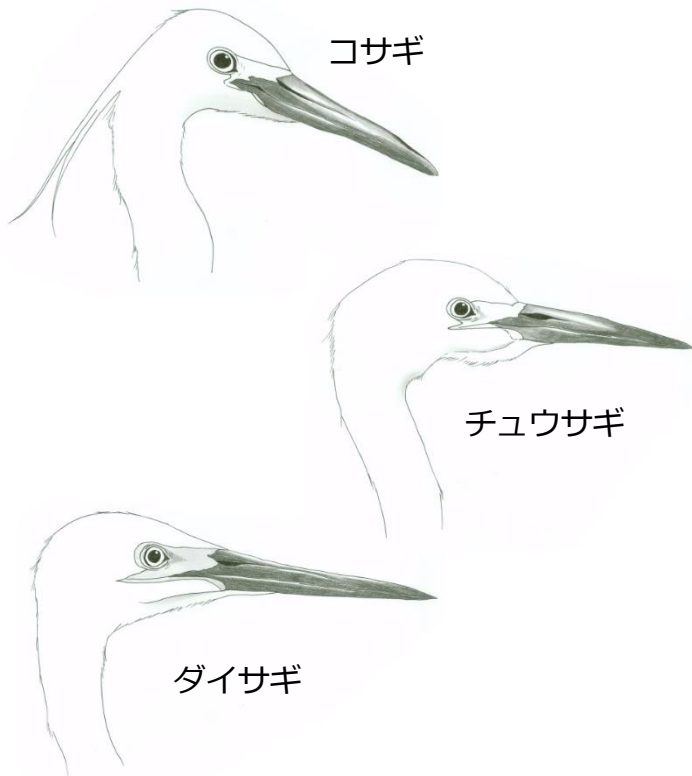




とねり自然図鑑

動物、昆虫や花などいろいろな自然の写真を「フォトクラブメビウス」の会員方にご協力いただき、毎月発行しております。写真にちなんだ「へえ～」という情報もお楽しみに。

【撮影した岡田さんのつぶやき】真っ白でとても美しい佇まいでした。もう一羽はちょうど水面に着水するところ。一枚の写真に静と動が混在するととても良い写真が撮れました。



コサギ

チュウサギ

ダイサギ

名称：シラサギ（白鷺）
 学名：Egretta garzetta
 体長：約46-90cm
 分布：日本全土
 主食：爬虫類、魚類
 天敵：オオタカ

シラサギの種類は、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、カラシラサギの4種類がいます。まず、ダイサギはもっとも大きなシラサギで体長約85～100cmもあり、またもっとも多く生息しているシラサギです。次に、チュウサギは体長約68～70cm、見た目はダイサギとよく似ていますが、体が小さいことや、くちばしが短いことなどで識別します。コサギは体長約60cm、チュウサギよりさらに小さいですが、長いくちばし、黒い足、黄色い指をしています。そして、カラシラサギは体長約60～68cm、目もとは黄色、足は黒褐色、指は黄緑色をしています。

シラサギはこの4種とも羽根がとても綺麗で、かつては飾り物として高価に売買されていました。このためシラサギは乱獲され、世界のあちこちで絶滅に近い状態となりましたが、その後、捕獲を多くの国で禁じられ、シラサギは絶滅せずに済み、再び身近に見られるようになりました。人と動物の共存の道を改めて考えていかなければなりませんね。

【シラサギは存在しない？】

○実はシラサギというのは白いサギの総称なのです。では、シラサギとは一体何でしょうか？

シラサギとは白いサギのことで、コウノトリ目サギ科シラサギ類というグループで構成されています。食事は単独ですが、夜に寝るときは群れて寝ます。また、他の種類のサギたちと一緒にコロニー（サギ山）を作って繁殖したりもします。

『舎人図書館にある参考資料の一部を紹介↓』

小宮輝之 戸塚学 『里山の野鳥ハンドブック』 NHK出版

大橋弘 『鳥の名前』 東京書籍

川上和人 『ポプラディア大図鑑WONDA 鳥』 ポプラ社

毎月集めて、舎人地域学習センター・図書館のオリジナル図鑑をつくろう！